

【施設状況】

グループ名称	篠ノ井中央公園、茶臼山自然植物園、茶臼山公園(植物園口駐車場)										
指定管理者名	一般財団法人ながの緑育協会					法人番号	9100005011552				
所管課	主	202500	公園緑地課	副							
構成施設	2836	篠ノ井中央公園									
	5644	茶臼山自然植物園									
	2840	茶臼山公園(植物園口駐車場)									
施設分類	04	レクリエーション型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	01	代行制	
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・篠ノ井中央公園(管理棟、トイレ棟、遊具等) ・茶臼山自然植物園(上部)(管理棟、四阿、トイレ棟、遊具等) ・茶臼山公園(植物園口駐車場) 										
施設設置目的	市民の憩いの場及び交流の拠点として設置。また、長野市緑を豊かにする計画(平成31年4月改定)により、篠ノ井中央公園は本市の「緑育の拠点」、茶臼山自然植物園(上部)は「緑育実践の場」として位置づけている。										
基本方針等	緑育を通じて長野の美しい自然を守り、緑を大切にす文化や人を育て、人と人をつなげられるように、当該公園が緑育の拠点及び緑育の実践の場として相応しい適切な維持管理を行う。 あわせて指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、市民が足を運びたいと考える施設となり、利用者が世代を越えて交流のできる、地域に根ざした施設となることを目指す。										
主な実施事業	管理棟、トイレ棟、遊具、四阿、駐車場、施設及び設備の維持管理に関する業務及び市が必要と認める業務										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	一般財団法人ながの緑育協会			当該指定管理者の 指定回数	2 回	
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成28年4月1日
指定 管理者 の 健全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年比	評価
		篠ノ井中央公園	人	58,952	52,197	59,034	58,645	99%	4
		茶臼山自然植物園	人	25,526	24,592	24,281	22,047	91%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
<p>(特記事項) 令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響は受けたものの、感染対策を講じながらの公園利用が普及してきたことが伺える。しかしながら、両施設とも前年度と比較して、利用者の減少がみられた。減少人数は、篠ノ井中央公園では389人、茶臼山自然植物園では、2,234人であった。</p>									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽管理(剪定・刈り込み、施肥、除草、花苗管理、病害虫管理) ・施設維持管理及び軽微な修繕の実施 ・園内清掃(トイレ含む)の実施 ・日常的な巡視、遊具・設備等の点検の実施 ・専門業者等による施設・設備等定期点検の実施 ・自動販売機の設置、販売 ・その他市が必要とする業務(ボランティア登録者の緑化活動、コミュニティガーデン事業の推進、公園施設を利用した講習会等、ボランティア養成講座(全12回)) 							
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への緑化意識の啓発交流を深めるためのイベント、展示会の開催。花苗交換会(年間2回) 彩と香の富貴蘭展(2日間) 秋の山野草展(2日間) クリスマスローズ展2023(3日間) 春蘭展(2日間) ・花と緑に関する知識や技術を深めるための各種講習会、園芸教室の開催(3講座) ・花と緑に関する様々な相談に答える相談所の開設 ・花と緑の相談所(年4回、計16名の相談者参加) ・「長野市緑と花いっぱい会」と連携し、地域緑化団地への花苗育苗事業の支援 			新型コロナウイルスの影響により中止 ・春の山野草展				
サービス維持・向上の取組み(広報等)		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的なゴミ拾い、トイレ清掃、犬のフン処理等を行い、きれいで快適な公園環境を提供した。 ・資源の有効活用として伐採木提供サービスを実施 ・多くの人が手に取る機会が見込まれる雑誌、NHK出版「趣味の園芸」9月号に花壇写真を提供 							

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
利用者からの評価・苦情等	(2) 調査、会議等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会、園芸教室参加者 ・ながの緑育協会ホームページ上のアンケートフォーム ・管理棟に設置したアンケート 		
	(3) 調査、会議等の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会、園芸教室参加者から寄せられた意見(全31講座)525件 ・ながの緑育協会ホームページに寄せられた意見2件 ・管理棟に寄せられた意見4件 		
	(1) 良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> 講習会、園芸教室参加者から寄せられた意見 ・毎回、満足度の高さが伺え、次回の参加を楽しみにしている感想だった。 ・講師及びながの緑育協会職員への対応に、感謝の言葉が多かった。 ながの緑育協会ホームページに寄せられた意見 ・季節の花や植物で楽しませてもらっている事への感謝 管理棟に寄せられた意見 ・花の展示会に来た。心のこもった花をみせていただいて、癒された 		
利用者からの評価・苦情等	(2) 苦情・改善等の要望事項	<ul style="list-style-type: none"> 管理棟に寄せられた意見 ・犬の散歩について、どちらかと言えば反対及び反対という意見 		
	《対応措置》	<ul style="list-style-type: none"> ・犬のフン処理等を行い、きれいで快適な公園環境の提供に努めた 		

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和4年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和4年度決算		令和3年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料		使用料		3
	指定管理料	47,460,000	指定管理料	47,460,000	雑(納付金)		雑(納付金)		
収入	委託料		委託料		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		3
	販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料		
収入	その他収入	1,801,000	その他収入	2,132,483	その他		その他		3
	計	49,261,000	計	49,592,483	計	0	計	0	
支出	人件費	19,106,000	人件費	18,591,523	指定管理料	47,460,000	指定管理料	47,460,000	3
	設備管理費	14,030,000	設備管理費	13,956,407	委託料		委託料		
支出	備品購入費		備品購入費		需用費		需用費		3
	修繕費	320,000	修繕費	638,660	役務費		役務費		
支出	光熱水費	2,040,000	光熱水費	2,225,300	使用料・賃借料		使用料・賃借料		3
	事業費	3,452,000	事業費	3,766,983	修繕費		修繕費		
支出	事務経費	6,404,000	事務経費	6,511,470	工事請負費		工事請負費		3
	本社経費	3,627,000	本社経費	3,205,576	備品購入費		備品購入費		
支出	その他	282,000	その他	251,010	その他		その他		3
	計	49,261,000	計	49,146,929	計	47,460,000	計	47,460,000	
自主事業	収入		収入	102,000					3
自主事業	支出		支出	83,000					
自主事業	自主事業損益	0	自主事業損益	19,000					3
損益		0		464,554	差引	-47,460,000		-47,460,000	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和4年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								37.8%	3
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				会計ソフトの切り替え費用を一括で見込んでいたが、5年のリース契約を結んだため					

5 管理運営全般 ※すべて☑で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☑	3	
	配置実績 (うち市内雇用職員数)			正規職員2人(2人)、臨時職員4人(4人)、パート職員3人(3人) 計9人(9人):事務局長1人(パート)、施設長1人(臨時)、総務担当1人(臨時)、緑育担当3人(正規2人、パート1人)、管理担当3人(臨時2人、パート1人)
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	☑	3	
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか			
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	☑	3	
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか			
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	☑	3	
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか			
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	☑	3	
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか			
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか			

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		3
	<ul style="list-style-type: none"> ・篠ノ井オレンジロードの植栽作業に参加 ・地元高等学校の探求学習の受入れ ・花と緑の団体、視察案内の受入れ ・地元小学校総合学習の受入れ ・植栽管理や施設管理に関係する業者には市内業者を採用 		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	12	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由

・令和4年度においても公園緑地の管理とともに、緑育ボランティアの活動をはじめ、講習会等の開催及び、施設の資源を活用した効率的な取り組みの成果が見られたことから「施設の有効活用」を「4」とした。
 ・令和2年度から管理職員担当が削減となったことにより、各作業において人員不足の課題はあるが、施設や遊具等の異常には早期発見、初期対応に努め、効率的な維持管理を行った。アンケート数は少ないが公園利用者から寄せられた意見には、公園管理に対する感謝の気持ちが伺えた。講習会、園芸教室参加者のアンケートからは、満足度の高さが伺え、講師及びながの緑育協会職員の対応に感謝の言葉がみられた事を考慮し、「利用者評価」を「4」とした。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・篠ノ井中央公園の高木類の適正な管理を継続し、更なる緑陰の創出を図る。 ・茶臼山自然植物園のアスレチック遊具の修繕とともに、管理エリアの倒木の危険性及び害虫被害を確認し、専門技術者の指示により対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・篠ノ井中央公園の継続的な高木類樹勢回復措置の結果は順調である。今後も継続していく。 ・茶臼山自然植物園のアスレチック遊具は公園遊具定期点検の結果を受けて、撤去及び修繕の方針を出した。新たに2基のアスレチック遊具を設置した。 ・病虫害駆除は随時実施し、危険木、支障木、倒木した樹木の伐採を必要に応じて実施した。直営管理が難しい箇所は、安全面、効果効率の観点から外部委託で実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、篠ノ井中央公園の高木類の適正な管理を継続し、更なる緑陰の創出を図る。

次年度の目標・取組み等
(施設所管課)

- ・リスク管理及び人員充足を目的とした人材の確保と職員配置の改善
- ・令和5年4月に長野県SDGs推進企業登録が完了する予定である。各種事業とSDGsを紐づけていく
- ・質の高い管理運営の継続。公園管理と各種事業における利用者満足度の向上
- ・犬の散歩マナーをはじめとした利用者マナー向上のための取り組み
- ・公園の多面的な役割とニーズを研究し、更なる利用者サービス向上を目指す
- ・公園管理と緑育事業を事例として、コンクールなどに応募。情報発信や知名度向上を図る

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・ゴミ拾い、トイレ清掃や遊具・施設点検、病害虫の発見・対応などを日常的に実施し、公園の安心安全を提供した。
- ・篠ノ井中央公園は花が多い公園として親しまれている。NHK出版「趣味の園芸」令和4年9月号に花壇写真を提供。質の高い花壇を整備している。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、市の指針に従い、安心して利用できる環境づくりに努めた。
- ・花と緑の年間講座12回、ボランティア活動30回、講習会24回など、市民が花と緑に関わる機会を多く提供した。
- ・各種活動は積極的に発信し、「緑育」のPRを行っている。Instagramのフォロワーは548人、昨年度より153人増加した。
- ・茶臼山自然植物園の伐採木を提供する「伐採木提供サービス」を新たに開始。主に薪ストーブへの個人的利用を目的に、資源の有効活用を行った。
- ・各種イベント情報は広報ながのを中心にHP、Instagram、メールマガジンなどで広く周知した。定員以上のお問い合わせをいただくことも多い。
- ・篠ノ井中央公園管理棟の授乳室、トイレ、休憩スペースは公園利用者が必要な時に使用できるよう整備。多くの方にご利用いただいている。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・全体会議にて、施設・遊具等の異常、倒木や危険木、病害虫、講習会企画、進捗状況などを共有し、臨機応変に対応を行っている。
- ・あらかじめ薬剤を施用しておくことで病害虫を抑制する予防的薬剤散布を行っている。これにより作業量を最低限にできる。
- ・人、生物、環境に影響を与えず、長期間効果が持続するフェロモン誘引剤の使用により、環境に優しく効率的な害虫防除を行った。
- ・両公園の植栽管理は、エリア分けにより公園利用者には快適に、管理者側には負担が少なくなるよう設定した。
- ・樹木医1人、草花遊びインストラクター2人。植栽管理や講習会に関わる職員の人材育成を行い、利用者ニーズに高いレベルで対応した。
- ・公園緑化作業をボランティア組織「緑育倶楽部」にて週1回実施。
- ・特定の園内花壇管理をボランティアにお任せするコミュニティガーデン事業を運営。効率的な公園管理の手法を取り入れている。
- ・樹木剪定作業を兼ねた剪定講習会、花壇整備を兼ねた株分け講習会など、公園管理と緑育事業を一体化させた効率的な運営を行った。

③ その他

- ・「緑育」は、コロナ禍、SDGsなどの観点から、現代社会における新たな公園緑地の存在価値を見出している。
- ・緑育ボランティア、講習会、コミュニティガーデン等は、公園緑地という環境を生かした先進的な活動である。
- ・ボランティア組織「緑育倶楽部」の登録人数は215人(令和5年3月31日現在)。緑育を担う長野市の大きな財産である。
- ・緑育サポーター会議を年1回開催。ボランティア活動における意見、要望などを把握し、よりよい運営につなげている。
- ・講座、講習会ごとにアンケートを実施し、満足度の高い評価をいただいている。
- ・公園管理と緑育事業を一体化し、複合的に事業を実施した。
- ・グリーンインフラ官民連携プラットフォームへの会員登録(令和4年8月)。
- ・長野県SDGs推進企業登録への登録申請(令和5年1月。登録は令和5年度4月予定)。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・課題としてきた緑陰の創出、施設老朽化への対応などは成果が表れてきている。今後は、それら適切な管理の「継続」が課題である。
- ・「継続」した管理のため及び緑育を担う「人員の充足」が課題である。
- ・犬の散歩について、フンの放置や立入禁止区域への立ち入り、伸びるリードなどのマナー違反が問題となっているため、その改善策。
- ・篠ノ井中央公園の管理時間外の公園利用について苦情が増えていることへの改善策(危険行為や迷惑行為、犬の散歩マナーなど)。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

- ・公園緑地がもつ多面的な役割、使い道について充実したサービスを提供していること(犬の散歩、レクリエーション、講習会、ボランティアなど)。
- ・各サービスは、日常的な対応と質の高さから、利用者や参加者から高い評価を受けていること。
- ・市内のみならず、市外及び県外からの利用者や参加者も増えていること。
- ・公園管理における作業項目を、環境・教育・経済的な観点から緑育活動と一体化させることで、新たな公園管理の在り方を表現していること。
- ・公園内の樹木や草花を利用する講習会24回、ボランティア活動30回など、緑に関する普及啓発・人材育成のための事業を多く達成していること。
- ・特に篠ノ井中央公園は、花と緑をきっかけとした「緑育の拠点」として、多くの市民が集う場所になったこと。

② 次年度以降の取組み

- ・管理水準の維持、リスク管理のための人員の不足。
- ・犬の散歩マナーをはじめ、利用者マナー向上への取り組み。
- ・展開する事業とSDGsとを紐づけ、「緑育」の更なる知名度向上と価値の向上を図る。
- ・公園管理と緑育事業を一体化させた運営の「継続」。
- ・公園がもつ多面的な役割とそのニーズを研究し、利用者サービス向上につなげていく。
- ・ボランティア、講習会、コミュニティガーデンなどの緑育事業を、公園管理の先進的な事例としてコンクールに応募。